学校だより　ホームページはこちらから→

くすのき

9月号

令和４年８月２９日

横浜市立本牧南小学校

校　長　谷口　なおみ

めざす子どもの姿　元気いっぱい、やさしさいっぱい、何でもチャレンジ南っ子！

子どもを見守る学校・家庭・地域の三つの輪

校長　谷口　なおみ

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、コロナ禍の中、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

子どもたちの元気な声と笑顔が学校に戻ってきました。全校児童が大過なく夏休みを過ごすことができ、子どもたちは一回り大きくなったように感じます。

長期休業の後は、一人ひとりの子どもたちが生活リズムを取り戻し、徐々に集団生活へ順応していくことを見守っていくことはとても大切です。久しぶりの学校生活を楽しみにし、張り切っている子どもがいる一方、夏休み明けは、何となく集団生活になじめないなどの重たい気分の子どもが少なくないと言われています。内閣府の調査によると、18歳以下の自殺者数が、夏休み明けに突出して多いという報告があります（厚生労働省自殺対策白書）。割合と自由な時間を過ごしていた夏休みが終わり、授業や学校生活への不安やプレッシャーが増したり、友達関係のトラブルへの懸念があったりすることが背景にあると考えられます。学校では、子どもたちが少しずつリズムを取り戻せるよう、これからの目標や計画を考えたり、表面に表せない子どもの思いをくみ取ることに有効な生活アンケートを行ったり、安心な場での仲間づくりを意識した活動やお互いのよさを認め合える活動等を意図的に行ったりすることで、スムーズに学校生活に戻れるように努めています。

さて、学校給食を支援してくださる「よこはま学校食育財団」という団体があります。給食を実施している横浜市立学校に物資の調達・斡旋をしたり、食の安全・安心への取組や食に関する情報を発信したり、地産地消や食育の推進を行ったりすることが主な事業内容です。７月上旬に、財団の支援員が来校し、本校の給食の実施状況について視察しました。視察後、とてもよい環境の中で給食が実施されている、栄養士による栄養管理が素晴らしく、調理スタッフのコミュニケーションがよい等の評価を受けました。本校の給食は「寿食品」に民間委託されており、他校にはない柔軟なメニューが可能で格別なおいしさである、と感じていますが、改めてよい評価を受け、おいしくて安全な給食が実施できていることをうれしく思いました。子どもの成長に欠かせない給食は、自然と子どもの笑顔とやる気を導いていると感じます。

今後とも、学校・家庭・地域の三つの輪で子どもたちを連携して見守っていくご理解とご協力をお願い申し上げます。

シトラスリボンプロジェクト
「学校・家庭・地域」の三つの連携の輪を広げましょう。
Citrus Ribbon PROJECT